

防火
統括 防災 管理者選任（解任）届出書

年 月 日
(提出日を記入)

岡崎市消防長 殿

管理権原者

住 所 岡崎市朝日町3丁目4番地

株式会社 岡崎消防

氏 名 代表取締役 岡崎 太郎

電話番号 (0564)-12-3456

下記のとおり、統括 防火 防災 管理者を選任（解任）したので届け出ます。
記

防火 対象 物	建築物 その他 の 工 作 物	所在地	岡崎市朝日町3丁目4番地			
		名称	株式会社 岡崎消防ビル		電話 (0564)-12-3456	
		用途	複合用途(特定)	令別表第1	(16)項イ	
		種別	<input checked="" type="checkbox"/> 甲種 乙種	収容人員	500人	
統括 防火・ 防災 管理者	選 任	氏名(フリガナ)	岡崎 一郎 (オカザキ イチロウ)			
		住所	岡崎市朝日町3丁目〇番地			
		選任年月日	令和 5年 4月 1日			
		資 格	講 習	種別	<input checked="" type="checkbox"/> 防火管理 (<input checked="" type="checkbox"/> 甲種 乙種)	<input checked="" type="checkbox"/> 防災管理
				講習機関	日本防火防災協会	
			修了年月日	令和5年 3月 1日	令和5年 3月 1日	
	格	そ の 他		令第3条第1項第()号()	令第47条第1項第()号	
				規則第2条第()号	規則第51条の5第()号	
	解 任	氏名	岡崎 次郎			
		解任年月日	令和 5年 3月 31日			
解任理由						
その他必要事項						
受付欄		経過欄				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 印のある欄については、該当の 印にレを付けること。
3 統括防火・防災管理者の資格を証する書面を添付すること。
4 印の欄は、記入しないこと。

統括防火・防災管理者選任(解任)届出書記入要領

項目	記入内容		
防火・防災の選択	防火・防災の該当箇所の 印に「レ」点で記入する。		
年月日	届出書の提出年月日を記入する。		
宛先	「岡崎市消防長」と記入する。		
管理権原者	当該事業所の管理について権原を有する者の住所、氏名を記入する(法人の場合は法人の住所、名称及び代表者の職氏名を記入する。) 個人企業の場合は、住民登録をしている住所とする。		
防火・防災の選択	防火・防災の該当箇所の 印に「レ」点で記入する。		
選任(解任)	「選任(解任)」のうち該当しない方を横線で消す。 同一の届出書で選任と解任を行うときはそのままにする。		
防火対象物	所在地	当該防火対象物の所在地を記入する。	
	名称	「ビル」等当該防火対象物の名称、電話番号を記入する。	
	用途・令別表第1()項	当該防火対象物の用途・令別表第1の項を記入する。	
	種別	該当するものの 印に「レ」点で記入する。 特定防火対象物 建物の延べ面積が300㎡以上...甲種、300㎡未満...乙種 非特定防火対象物 建物の延べ面積が500㎡以上...甲種、500㎡未満...乙種 (6)項口を含む場合は、面積に関係なく甲種)	
	収容人員	消防法施行規則第1条の3の算定基準により算定した当該防火対象物全体の収容人員を記入する。	
統括防火・防災管理者	選任	氏名(フリガナ)	統括防火・防災管理者となる者の氏名とフリガナを記入する。
		住所	統括防火・防災管理者となる者の住所を記入する。(住民登録してある住所)
		選任年月日	管理権原者から当該防火対象物の統括防火管理者として指名選任された年月日(又は届出年月日)とすること。
		種別	受講した防火・防災管理講習の種別に該当するものの 印に「レ」点で記入する。
		講習機関	防火・防災管理講習を受けた機関名を記入する。 「日本防火防災協会、消防本部」等
		修了年月日	修了証に記載されている修了年月日を記入する。
		その他	講習修了以外の資格で選任する場合の根拠法令及び資格内容を記入する。 消防法施行規則第2条第7号(市町村の消防団員等)
	解任	氏名	解任する者の氏名を記入する。
		解任年月日	解任の年月日を記入する。
		②解任理由	「異動のため」、「退職のため」など具体的に記入すること。
②その他必要な事項	新たに統括防火管理者が必要となった理由等を簡記すること。 「新築増改築、従業員の増加、収容人員の増加」「テナントの入れ替え」等		